
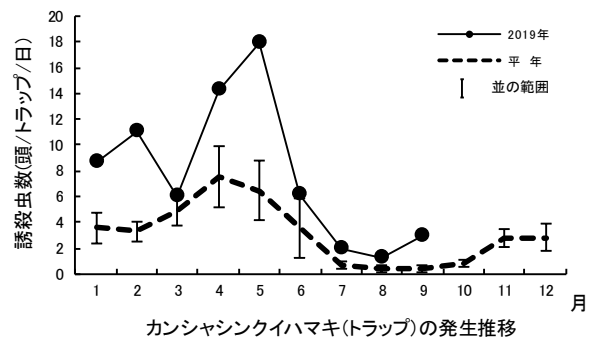
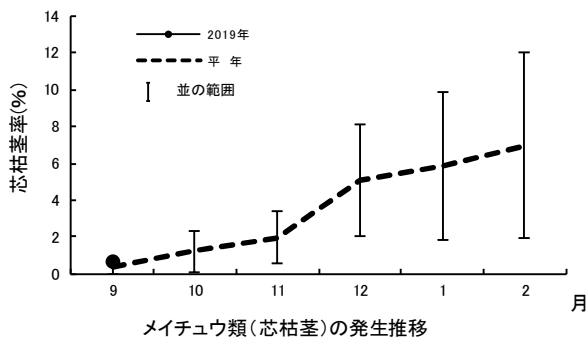


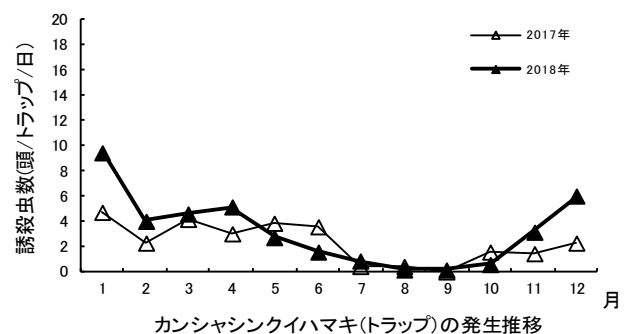
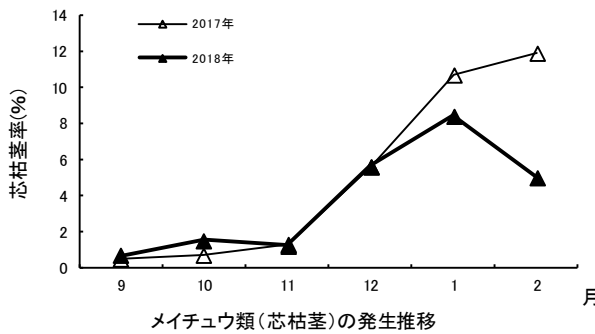
作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)		
予報	10 月の発生量 (平年比)	並	
	9 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・ 茎内で発見したメイチュウ類 (3頭) のうち、カンシャシクイハマキは0頭であった。

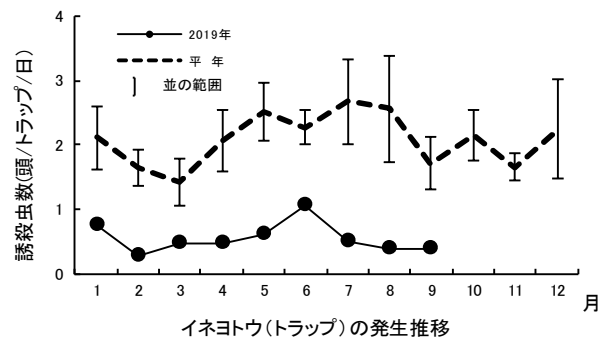
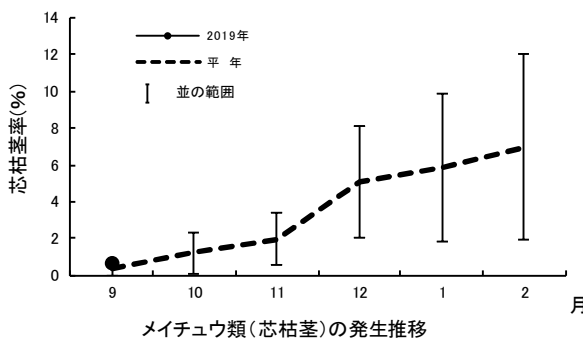
防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

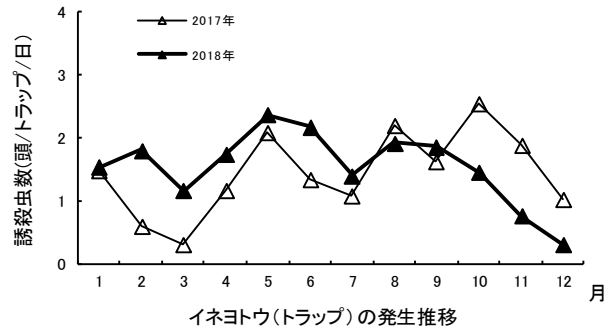
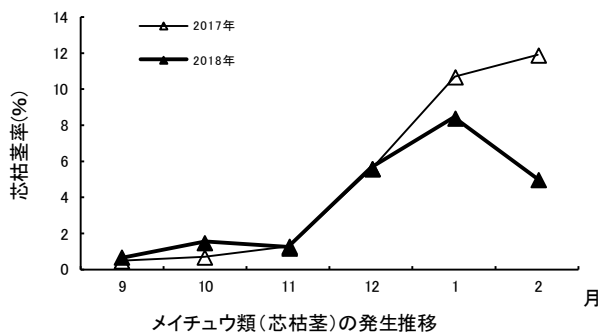
作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	② メイチュウ類(イネヨトウ)		
予報	10 月の発生量 (平年比)	並	
	9 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・ 茎内で発見したメイチュウ類 (3頭) のうち、3頭 (100%) がイネヨトウであった。

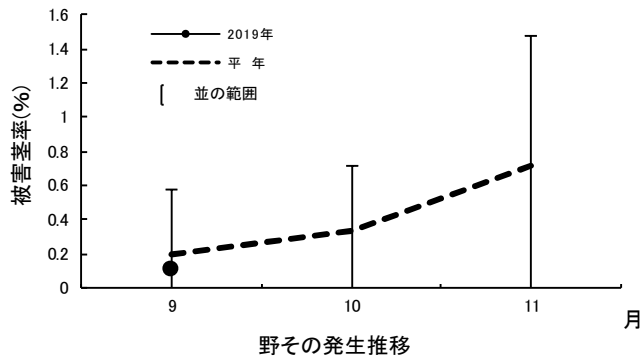
防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

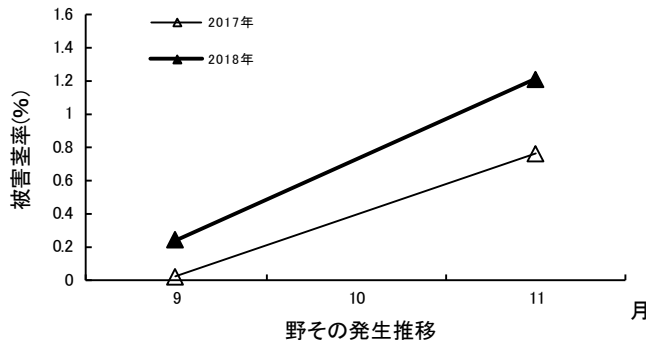
作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	③ 野そ		
予報	10 月の発生量 (平年比)	並	
	9 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



防除のポイント

- ・ 管理されていない耕地などで繁殖するため、ほ場周辺も含めて雑草防除等の管理作業を行う。
- ・ 野積みされた剥葉残さなどに巣を作るため、野積みを行わない。
- ・ 被害は台風で倒伏した収穫前のほ場で多い。
- ・ 被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。

野そによる
茎の食害

